

次の【事実】を読み、下記の【設問】に答えなさい。

【事実】

I 次の1から5までの事実があった。

- 1 A（28歳）は、サイクリングが趣味で、年1～2回程度、舗装された道路を走るロードレース大会に出場していた。そのうちに、山道をマウンテンバイクで走るオフロードのレース大会に興味を持ち、まずはマウンテンバイクを購入しようと考えた。
- 2 Aは、2020年6月6日に、過去に自転車を2回購入したことがある、自宅近くのB自転車店（会社ではなく、Bが個人で営んでいる。）を訪れて、「いずれはマウンテンバイクのレースに出ようと考えているが、とりあえず乗り慣れる必要があるので、この近くで走ってみようと思う。何か手頃なマウンテンバイクはないだろうか。」と告げた。
- 3 実は、Aは、秋に開かれるレース大会に出場するつもりであり、それにふさわしいマウンテンバイクを購入しようと考えていた。ところが、Bは、上記のAの発言を聞いて、まずは一般的なマウンテンバイクで乗り慣れてから、本格的なレースに出場するには新たなものを購入するのだと思った。そこでBは、ちょうど店にあったマウンテンバイク「甲」の購入を勧めた。甲は、長距離の移動には適しているが、レースには適していなかった。Aは、Bが勧めるのであれば間違いないだろうと考えて、店に備え付けられていた契約書に必要事項を記入して、甲を購入する契約を締結した。Aは、翌6月7日に再度B自転車店を訪れ、甲を受け取り、代金8万円を支払った。
- 4 Aは、6月13日にマウンテンバイクに詳しいレース仲間のCに会って、新しく購入した甲を見せた。Cは、甲を見て、甲がマウンテンバイクによるオフロードのレースには適していないものであるとAに告げた。
- 5 Aは、非常に驚いて、Cと別れてB自転車店に向かい、Bに対して「レース用だと思って甲を買ったのに、そうではなかった。返品するので代金を返してほしい。」と告げた。逆に驚いたBは、「レース用のものが欲しいと自分は聞いていないし、Aも納得して買ったのだから、返品や返金には応じられない。」と返答した。

【設問1】（前記1から5までの事実に基づき、答えなさい。）

AのBに対する主張の法的根拠は、どのようなものと考えられるか。また、Aの主張が認められるか否かについて、Bの反論を考慮しつつ論じなさい。

II 前記1と2の事実につき、次の6から8までの事実があった（前記3から5までの事実はなかったものとする。）。

- 6 Bは、Aが近いうちにレースに出場するつもりだと考えて、ちょうど在庫があっ

たレース用のマウンテンバイク「乙」の購入を勧めた。Aは、デザインも気に入ったので、店に備え付けられていた契約書に必要事項を記入して、乙を購入する契約を締結した。Aは、翌6月7日に再度B自転車店を訪れ、乙を受け取り、代金15万円を支払った。

- 7 Aは、6月13日に高低差のある山道を走ってみたところ、乙から伝わる衝撃が予想以上に大きかったので、帰り道にB自転車店に立ち寄った。Bが確認したところ、地面からの衝撃を吸収する装置であるサスペンションに異常があることが判明した。この異常は、見てもすぐにはわからず、平地を走行している際には気がつきにくいものであった。
- 8 Aは、乙と同機種の新たに入荷した自転車を指さして「そこにある新品と取り替えてほしい。」とBに告げたが、部品の取替えで十分対応できるため、BはAに対して「修理で対応したい。」と告げた。そこでAは、「それだと時間がかかってレースのための練習ができなくなるので、新品と取り替えてほしい。」と主張したが、Bはこれを断った。

【設問2】（前記1と2、及び6から8までの事実に基づき、答えなさい。）

AのBに対する主張の法的根拠は、どのようなものと考えられるか。また、Aの主張が認められるか否かについて、Bの反論を考慮しつつ論じなさい。

Ⅲ 前記1と2の事実に続き、次の9と10の事実があった（前記3から8までの事実はなかったものとする。）。

- 9 Bは、Aが近いうちにレースに出場するつもりだと考えて、ちょうど在庫があったレース用のマウンテンバイク「丙」の購入を勧めた。Aが「ちょっと試乗してみたい。」というので、Bは承諾し、丙をAに渡した。Aは、店を出てその周囲の舗装された歩道上を走っていたところ、進行方向からやってくるDに気がつき、避けようとして電柱に丙をぶつけてしまった。実は、そのために丙の車軸が少し曲がってしまったが、それは見てもすぐにはわからないものであった。Aは、丙を確認したところ特に傷も見当たらなかったため、そのまま丙に乗ってB自転車店に戻り、Bには何も告げないまま店に備え付けられていた契約書に必要事項を記入して、丙を購入する契約を締結した。Aは、1週間後の6月14日に代金15万円を支払う約束をして、その場で丙を受け取った。
- 10 Aは、6月13日に高低差のある山道を走ってみたところ、ペダルの回転がしっくりこなかったため、帰り道にB自転車店に立ち寄った。Bが確認したところ、何らかの衝撃で車軸が少し曲がっていることが判明した。Bが「これはうちでは修理できない。」と告げたところ、丙を気に入っていたAは、「不具合があるのだから、せめて代金は10万円にしてほしい。」と述べた。その時、B自転車店の常連客であるDが来店し、Aの顔を見て「この間、すぐそこの電柱に自転車をぶつけてたいへ

民法

んでしたね。その後、大丈夫でしたか。」と告げた。これを聞いたBは、Aの要求を断った。

【設問3】（前記1と2，及び9と10の事実に基づき，答えなさい。）

AのBに対する主張の法的根拠は，どのようなものと考えられるか。また，Aの主張が認められるか否かについて，Bの反論を考慮しつつ論じなさい。

（120点）